

船舶事故調査報告書

平成30年1月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	転覆
発生日時	平成29年2月25日 09時13分ごろ
発生場所	神奈川県横須賀市荒崎西南西方沖 長井港防波堤灯台から真方位240° 3.3海里（M）付近 （概位 北緯35° 10.8′ 東経139° 32.9′）
事故の概要	プレジャーボート浦田丸は、南西進中、転覆した。
事故調査の経過	平成29年2月27日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート 浦田丸、5トン未満（長さ2.88m）
船舶番号、船舶所有者等	232-22452神奈川、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	船外機に濡損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東北東、風力 1、視界 良好 海象：海上 平穏、水温 17℃
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、荒崎西南西方沖約3.3Mの亀城礁付近を南西進中、急に水深が浅くなる同礁付近で時折発生する高波を受けて転覆した。 船長は、本船に掴まっていたところ、付近を航行していたプレジャーボートに救助され、横須賀市長井漁港に搬送された。 船長は、救命胴衣を着用していた。
分析	本船は、荒崎西南西方沖の亀城礁付近を南西進中、同礁付近で時折発生する高波を受けたことから、転覆したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、荒崎西南西方沖の亀城礁付近を南西進中、同礁付近で時折発生する高波を受けたため、転覆したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・自船の堪航性を考慮し、高波が発生するおそれがある海域の航行を避けることが望ましい。